



ボルドー・メドック地区、ポイヤック村に位置するシャトー・コルディヤン・バージュ「Chateau Cordeillan-Bages」は、Relais & Chateaux に加盟するリユクシなブティックホテルだ。この地区の名門シャトー「Château Lynch Bages」のオーナー、ジャン・ミッシェル・カース氏がホテルを所有している



ホテル正面ゲートには「Relais & Chateaux」のプレートが掲げられている



オリジナルの建物は17世紀に建てられたカルトゥジオ修道会の教会施設で、それをホテルに改築した由緒ある建物である



筆者 小原 康裕
国際ホテルジャーナリスト

慶応義塾大学法学部法律学科卒。
1974年 Munich Re 入社。
2001年投資顧問会社原健設立、
代表取締役 CEO。
JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント
協会理事。

www.jhrca.com/worldhotel/?cat42
<https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16>

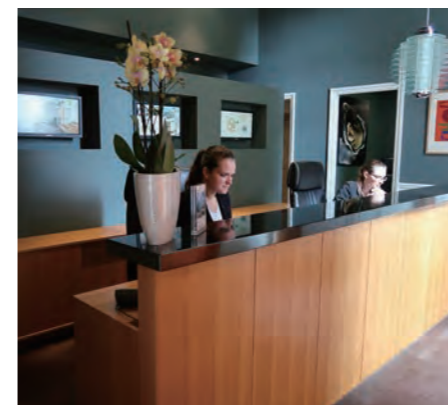
現在、筆者のホームページで
「世界のリーディングホテル」を連載中。
多くの美しい写真と興味深いコメントで、
世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。



ダイニングルーム脇のテラスから「Cabernet Sauvignon」など品種別に区分けされたブドウ栽培も見られる



館内エントランスホールにあるコンシェルジュデスク。左手奥の出入り口は塔に登る階段があり、かつて教会であった痕跡も見受けられる



モダンなレセプションデスク



ホテル内にはオーナーのコレクションである絵画を飾った複数のサロンを用意している



美しいガーデンを望む落ち着いたライブラリーラウンジ



芝生に囲まれたオープンエアのスイミングプール

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエグゼクティブが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままに撮ってきた写真を掲載する。

Chateau Cordeillan-Bages

ボルドー・メドック地区、ポイヤック村に位置するシャトー・コルディヤン・バージュ「Chateau Cordeillan-Bages」は、Relais & Chateaux に加盟するリユクシなブティックホテルだ。オリジナルの建物は17世紀に建てられたカルトゥジオ修道会の教会施設で、それをホテルに改築した由緒ある建物である。この地区の名門



ミシュランの星を獲得したスタイリッシュなダイニング「Restaurant Cordeillan-Bages」。エグゼクティブシェフのジュリアン・レフェブレ氏が地元の食材で腕を振るう



ここでは地ワインの「Chateau Cordeillan-Bages」を堪能したい



ポイヤック「Pauillac」は、フランスワインの中でも秀逸した質の高いワインを産出し、ボルドーで最も偉大なワインを産む村として有名だ



ホテルから徒歩数分の場所にショップが集まったバージュ・ヴィレッジがあり、その一角にある提携のビストロ「Café Lavinal」



ビストロ「Café Lavinal」の店内。メドックの郷土料理とワインで人気がある



テラスが付帯した「Junior Suite」のベッドルーム。約45㎡の広さを持つアーバン・コンテンポラリーのデザインである。ホテル館内は気品ある趣で、歴史ある館ながら洗練されたモダンなレイアウトだ



キングベッドからリビングエリアとバスルーム



バスルームは一面のガラスで仕切れられ、スイッチ一つで曇りガラスに変化する



「Junior Suite」はコーナーにあり、テラスが付帯している



テラスから望む美しい中庭ガーデン

シャトー「Château Lynch Bages」のオーナー、ジャン・ミッシェル・カーズ氏がホテルを所有し、周辺は一面のブドウ畑に囲まれている。館内エントランスホール奥には、かつて教会であった痕跡も見受けられ、またダイニングルーム脇のテラスから「Cabernet Sauvignon」など品種別に区分けされたブドウ栽培も見られ楽しい。

ポイヤック「Pauillac」は、フランスワインの中でも秀逸した質の高いワインを産出し、ボルドーで最も偉大なワインを産む村として有名だ。ボルドー5大シャトーのうち、Ch. Latour、Ch. Lafite、Ch. Moutonと、グランヴァン1級シャトーが3つも存在する村である。ジロンド河の恩恵を受けたテロワールで、“カシスの立ち昇るタンニンの香りと豊潤で力強いワイン”と評され、ポイヤックは「カベルネの聖地」とも言われている。

ホテル館内は気品ある趣で、歴史ある館ながら洗練されたモダンなレイアウトだ。今回はテラスが付帯した「Junior Suite」を紹介したい。約45㎡の広さを持つアーバン・コンテンポラリーのデザインで、バスルームは一面のガラスで仕切れられスイッチ一つで曇りガラスに変化する。ダイニングはミシュランの星を獲得したスタイリッシュな「Restaurant Cordeillan-Bages」があり、エグゼクティブシェフのジュリアン・レフェブレ氏が地元の食材で腕を振るう。また、ホテルから徒歩数分の場所にショップが集まったバージュ・ヴィレッジがあり、その一角にある提携のビストロ「Café Lavinal」も郷土料理とワインで人気がある。ホテル内にはオーナーのコレクションである絵画を飾った複数のサロンをはじめ、落ち着いたライブラリー、そして芝生に囲まれたオープンエアのプール、フィットネスジムなど充実している。

ホテルのあるバージュ村周辺は、ポイヤック南部にあるCh. Latour、Ch. Pichon Longuevilleなどの有力シャトーが集まっており、Ch. Cordeillan-Bages自身の畑もある。ホテルに用意されたレンタル自転車で近隣のブドウ畑の散策やシャトー巡りもお勧めだ。コルディアン・バージュは好立地が魅力の珠玉のホテルと言える。